

2026年度 第3回 公立大学法人埼玉県立大学理事会 議事録

日 時 2026年6月 22日(月)10:00～11:30

会 場 本部棟大会議室(オンライン併用開催)

出席委員 田中理事長、林副理事長、犬飼理事、金村理事、戸所理事、佐野監事、中野監事

出席教職員 田中副学長兼学部長、常盤学長補佐、善生専門職連携教育研修センター長、平野副局長、新井調整幹兼総務担当部長、小寺企画・情報担当部長、出井財務担当部長、黒沢研究・地域連携担当部長、甲田施設管理担当部長、根本教務・入試担当部長、富田学生・就職支援担当部長
【オンライン】
横山研究科長、濱口研究開発センター長、北畠情報センター長、上原地域連携センター長、滑川保健センター長、竹島共通教育科長、國澤看護学科長、今北理学療法学科長、臼倉作業療法学科長、小澤社会福祉子ども学科長、植野健康開発学科長、山口高等教育開発センター副センター長、村井研究開発センター副センター長

議事概要 ○:学外理事、監事 ●:学内理事、事務局

【議事録確認】

田中理事長から前回の議事録が提示され、確認された。

【議決事項】

第4号議案 令和7年度決算について

資料に基づき、平野副局長及び監事から説明した。案のとおり、異議なく議決された。

第5号議案 令和7年度業務実績報告書(案)について

資料に基づき、平野副局長から説明した。案のとおり、異議なく議決された。

主な発言は以下のとおり

○第3期中期目標の数値目標は、第1期中期目標の数値目標から変更されているのか。

●進路決定率100%、県内就職率60%は第1期中期目標から同様の数値目標である。科学研究費助成金の採択件数65件の数値目標については、第1期中期目標では、第1期中期目標期間の6年間で採択件数を30%増加させるという数値目標であった。第2期中期目標では、第3期中期目標の数値目標と同様である。自主財源比率44%の数値目標については、第1期中期目標では、第1期中期目標期間の6年間で自主財源比率を5ポイント向上させるという数値目標であった。第2期中期目標では、第3期中期目標の数値目標と同様である。

○科学研究費助成金の採択件数65件という数値目標について、県立大学の規模から考えると採択件数65件を達成することは可能だと考える。しかし、件数を達成することだけに囚われてしまうという懸念もあるではないか。

また、県内就職率60%の数値目標については、県内に医療人材を輩出するという意図で設定したのではないかと考えるが、県立大学は医療系以外の人材育成も実施している。数値目標の対象となる学部、学科を限定し、対象となる学部、学科において数値目標の達成を目指すという考え方もあるのではないか。

●科学研究費助成金の採択件数、県内就職率の数値目標は、数値目標の設定において県から強い意向があった。次期中期目標における数値目標については、今後県と協議していく。

○社会情勢が大きく変化する中で、数値目標も社会情勢を考慮して検討する必要があるのではないか。外部役員、監事のこのような意見も踏まえて県と協議してはどうか。

●最終的には県が数値目標を設定するが、いただいた意見を踏まえて県と協議していく。

第6号議案 第3期中期目標期間業務実績見込み報告書(案)について

資料に基づき、平野副局長から説明した。案のとおり、異議なく議決された。

主な発言は以下のとおり

○P109に「地域貢献・産学連携・国際交流」の取組が記載されている。博士課程でもグローバルな視点を取り入れるために、国際交流を図っていると以前の経営審議会で伺った。国際交流については、報告書でカリキュラムやプログラムを設定した旨を記載いただいているが、より具体的に学生が海外に進出してグローバルな視点を取り入れるために実施している取組内容を、次回以降の報告書では記載いただきたい。

- 御指摘のとおりだと思う。今年度から海外留学のための大型資金援助を予算化した。国内においても、学内で海外の方々と交流できる講習会等の開催を企画している。引き続き取り組んでいく。

【報告事項】

(1)学長選考会議委員の選出について

資料に基づき、新井調整幹兼総務担当部長から報告した。

主な発言は以下のとおり

○委員の交代理由を教えてほしい。

●いずれの委員も任期満了による交代になる。

(2)法人固有事務職員の採用について

資料に基づき、新井調整幹兼総務担当部長から報告した。

主な発言は以下のとおり

○論文試験の廃止は応募者の負担軽減につながるが、論文試験の部分で確認していた応募者の文書能力は確認できなくなる。採用後どのようにフォローしていくつもりか。また、採用方式が変更になることを早めに周知してほしい。

●文書能力へのフォローは、OJTによる指導や県が開催している初任者研修等を活用して実施する。
職員募集の周知は速やかに実施する。

(3)教員人事委員会委員の指名について

資料に基づき、平野副局長から報告した。

主な発言は以下のとおり

○教員人事委員会の構成は前年度と同じか。変更はあるのか。

●構成に変更はない。

(4)2026年度監事監査計画について
資料に基づき、監事から報告が行われた。

(5)業績評価指標の推移について
資料に基づき、常盤学長補佐から報告した。

(6)第4期中期計画検討委員会の設置について
資料に基づき、常盤学長補佐から報告した。

主な発言は以下のとおり

○第4期中期計画の内容について、県との調整はどのように実施するのか。

●第4期中期計画策定に向け、県とは随時調整していきたい。

○理事会等でも第4期中期の目標等について様々な意見が出た。早めに県と調整し、県と大学の双方が納得できる内容にしてほしい。

以上